

## 平成29年度後期 学群教育改善計画

学群(学部)名	基盤教育群
学群(学部)長名	川村 保

<p>1ー(1). 授業評価アンケート結果を踏まえ、学群で改善すべき重点課題とその理由について3つ挙げてください。          ※なお、前回から継続して同様の課題を記載する場合は、冒頭に「継続」と記載してください。</p>					
①	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">課題</td> <td>【継続】事前・事後の学習が不十分である。</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td>・事前・事後学習の状況については科目ごとに差があり、基盤教育として開講している科目全般のレベルアップが必要である。</td> </tr> </table>	課題	【継続】事前・事後の学習が不十分である。	理由	・事前・事後学習の状況については科目ごとに差があり、基盤教育として開講している科目全般のレベルアップが必要である。
課題	【継続】事前・事後の学習が不十分である。				
理由	・事前・事後学習の状況については科目ごとに差があり、基盤教育として開講している科目全般のレベルアップが必要である。				
②	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">課題</td> <td>授業の展開上の事情に一層の配慮を払った時間割編成を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td>・冬季にはしばしばバスの遅延のために1時間目の必修科目の授業に遅刻する学生が生じる。                  ・他の関連科目のつながりを考慮した時間割上の科目の配置が望まれる。</td> </tr> </table>	課題	授業の展開上の事情に一層の配慮を払った時間割編成を行う必要がある。	理由	・冬季にはしばしばバスの遅延のために1時間目の必修科目の授業に遅刻する学生が生じる。 ・他の関連科目のつながりを考慮した時間割上の科目の配置が望まれる。
課題	授業の展開上の事情に一層の配慮を払った時間割編成を行う必要がある。				
理由	・冬季にはしばしばバスの遅延のために1時間目の必修科目の授業に遅刻する学生が生じる。 ・他の関連科目のつながりを考慮した時間割上の科目の配置が望まれる。				
③	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">課題</td> <td>【継続】学習環境が十分に整備されていない。</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td>・体育館の施設・設備のメンテナンスが不十分であり、履修者の事故につながりかねないおそれがある。                  ・アクティブラーニングの実施に支障がある教室がある。</td> </tr> </table>	課題	【継続】学習環境が十分に整備されていない。	理由	・体育館の施設・設備のメンテナンスが不十分であり、履修者の事故につながりかねないおそれがある。 ・アクティブラーニングの実施に支障がある教室がある。
課題	【継続】学習環境が十分に整備されていない。				
理由	・体育館の施設・設備のメンテナンスが不十分であり、履修者の事故につながりかねないおそれがある。 ・アクティブラーニングの実施に支障がある教室がある。				
<p>1ー(2). 上記のそれぞれの課題を解決するための取組と、それらの取組を具体的にどのように進めていくか書いてください。</p>					
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロFDや教員会議の場を利用して、事前・事後学習ができていない科目の担当者から、そのノウハウを教示してもらい、共有を図る。</li> <li>・事前・事後学習の際にも役立つと思われるMoodle1やMocaなどのソフトウェアの習熟を促す。</li> </ul>				
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離通学の学生など公共交通機関の遅れの影響を受ける学生がいることを考慮し、深刻な影響が生じると懸念される科目の時間割配置を変えられるか検討し、可能であれば変更する。</li> <li>・時間割の上で解決できる課題については、時間割編成の段階で調整し、解決を図る。</li> <li>・履修年次等のカリキュラム編成に関わる課題については、現行カリキュラムの完成後のカリキュラム変更を視野に入れて、改善のための準備を進める。</li> </ul>				
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館のメンテナンスについては体育系の科目を担当している教員より継続的に事務局へ依頼してきた経緯があるが、基盤教育群としても事務局への働きかけを行う。</li> <li>・アクティブラーニングの実施に適した教室と適さない教室を分類すると共に、授業でのアクティブラーニング環境の必要性を把握して、効率的な教室の割り振りを時間割編成に反映させるようにする。</li> </ul>				

<p>2ー(1). 各科目の授業改善計画から、授業実施・授業改善の良い事例を挙げてください。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・反転授業形式で授業を実施し、事前学習をしなければ授業についてこれないようにして、事前学習を促した。</li> <li>・複数の教員が担当する科目において担当教員の違いによる差が生じないように、定期的なミーティング等で進捗状況の管理を行なった。</li> </ul>	
<p>2ー(2). 上記の事例を学群の中でどのように共有して教育改善につなげていくか書いてください。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員会議、科目分野ごとのミーティング、マイクロFDなどの場でこれらの取り組みについて紹介し、基盤教育群としての情報共有を図る。</li> </ul>	